

2025 年 10 月 30 日

ベーリンガーインゲルハイム、自己免疫疾患の新規治療法開発に向けて、 協和キリンから新規化合物のライセンスを取得

本ニュースリリースは、ドイツのベーリンガーインゲルハイム（Boehringer Ingelheim GmbH）および協和キリン株式会社が本日発表した英文プレスリリースの内容を、日本語に翻訳、再構成し、発表しています。本ニュースリリースの正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先しますことにご留意下さい。

原文（英文）については以下をご参照ください。

https://www.kyowakirin.com/media_center/news_releases/2025/pdf/e20251030_01.pdf

- ライセンスを取得した低分子化合物プログラムは、自己免疫疾患における深刻なアンメットメディカルニーズに対応することを目的としています。
- 本プログラムはベーリンガーインゲルハイムの研究開発パイプラインを拡充し、炎症性疾患の患者さんに革新的治療薬を届けるという同社の使命をさらに加速させるものです。

ベーリンガーインゲルハイムは協和キリン株式会社（本社：東京、代表取締役社長 COO：アブドゥル・マリク、以下「協和キリン」）から、自己免疫疾患に対する、ファースト・イン・クラス低分子治療薬候補の開発を目的とした、前臨床開発プログラムに関するライセンスを取得いたしましたのでお知らせします。

自己免疫疾患は、世界的に重大かつ拡大する健康課題であり、世界人口のおよそ 10 人に 1 人が影響を受け、患者さんや医療体制に大きな負担をもたらしています。治療法の革新は進んでいるものの、より効果的で持続性の高い治療選択肢へのニーズは依然として高まっています。自己免疫疾患の研究開発において世界的なリーダーであるベーリンガーインゲルハイムは、疾患の根本原因に直接作用する新たな治療戦略を推進し、高度に標的化された革新的治療薬の提供を目指しています。

ベーリンガーインゲルハイムの米国イノベーションユニット拠点長兼グローバル免疫・呼吸器疾患領域統括責任者である Carine Boustany は、次のように述べています。「自己免疫疾患の患者さんに人生を変える治療法を届けるという当社の使命は揺るぎません。このたび、ファースト・イン・クラスとなる可能性を秘めたプログラムを当社の拡大を続けるパイプラインに加えられることを嬉しく思います。今回のライセンス契約は、患者さんに画期的な治療薬を届けるための大きな一歩です。」

協和キリンの取締役副社長 Chief Medical Officer である山下武美は、次のように述べています。「今回導出する化合物は、協和キリンが有する革新的技術および疾患生物学の深い知見を通じて創出されたもので、大きな可能性を秘めています。炎症性疾患領域においてベーリンガーインゲルハイムは卓越した専門性を有しており、この革新的な化合物が効率的に開発され、最も必要とされている患者さんのもとへ届けられると我々は確信しています。」

本ライセンス契約条件に基づき、ベーリンガーインゲルハイムは協和キリンから、本低分子化合物プログラムを開発する全世界での独占的権利を取得します。協和キリンは、契約一時金に加え、開発・承認・販売に関する成功報酬型マイルストーン、さらに売上発生時のロイヤリティを含め、最大で 6 億 4,000 万ユーロを受け取る可能性があります。

ベーリンガー・インゲルハイムについて

ベーリンガー・インゲルハイムは、人と動物の健康に貢献するバイオ製薬企業です。研究開発における業界トップクラスの投資を行い、アンメットメディカルニーズの高い分野で、より長くより良い生活を送ることを可能にする画期的な治療法の開発に注力しています。1885年の創業以来、ベーリンガー・インゲルハイムは株式を公開しない独立した企業形態により、長期的な視点を維持し、バリューチェーン全体にサステナビリティを組み込んだ活動を行っています。より健やかでサステナブルかつ公平な未来を築くため、約 5 万 4,500 人の社員が 130 か国以上で活動しています。

詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.boehringer-ingelheim.com/>（ベーリンガー・インゲルハイム）

<https://www.boehringer-ingelheim.com/jp/>（ベーリンガー・インゲルハイム ジャパン）

協和キリン株式会社について

協和キリンは、Life-changing な価値をもつ新しい医薬品や治療法を創出し、患者さんへ届けることに真摯に取り組んでいます。日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして、70 年以上にわたり医薬品の創出とバイオテクノロジーの革新に貢献してきました。現在、高いアンメットメディカルニーズを解決し得る次世代抗体および遺伝子細胞治療の開発に取り組んでいます。特に骨・ミネラル、血液がん・難治性血液疾患、希少疾患の治療法の研究開発に注力し、また他領域で活用され得る研究成果についてはパートナーシップによる価値最大化を目指します。協和キリンは共通の価値観のもと、持続可能な成長を実現し、人々に笑顔をもたらすために尽力します。

詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.kyowakirin.co.jp/index.html>